

第51回小中学生剣道大会

試合上の注意事項

- 今大会の試合は、2分三本勝負で行います。
- 試合時間内に勝敗の決しない場合は、引き分けとします。勝者数、取得本数がともに同数の場合は、任意の選手による代表者戦を行います。代表者戦は、時間無制限の一本勝負にて決定します。
(5分以上長引く場合は、審判員の裁量で深呼吸・給水の時間をとる)
- 試合者は、必ず面マスクおよびシールドを着用すること。
- 面マスクは、必ず鼻を覆うように装着すること。シールドに関しては、口を覆うものを必須とし、目を覆うものは自由とする。
- 試合者は、鏝ぜり合いを避けること。接触した瞬間の引き技や体当たりからの技は認めます。鏝ぜり合いになった場合、技が出ない時は試合者自ら積極的に分かれてください。審判員の「分かれ」の宣告を待つのではなく、試合者双方で分かれる努力をしてください。
- 鏝ぜり合いの解消に至る時間はおよそ「一呼吸」とする。
※分かれる場合は、お互いの剣先が完全に触れない位置まで下がること。
※分かれる場合は、剣先を開いたり、下げて分かれにくいこと。
※鏝ぜり合いを解消する場合は、双方がバラバラに下がらない。また、双方が徐々に下がるのではなく、鏝と鏝を押し合う力を利用して一気に下がること。
※分かれる途中で相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「逆交差」をしないこと。
- 分かれる際、相手だけに下がらせて自分が下がらない行為は反則です。
- 分かれる相手に対しての引き技は有効打突になりません。
- 一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突する行為や、分かれようと見せかけて引き技を打突する行為は反則の対象です。
- 意図的な時間空費や防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近する行為は反則です。

**剣道試合・審判規則第1条「公明正大に試合をし」
に反する行為は反則です。**